

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2015年12月2日（水）

第577号 本号5頁

（チラシ2種別掲添付含む）

本日2日18時30分～

12・2政府の代執行提訴に抗議し、翁長知事を激励する官邸前、抗議行動！

—安倍政権は代執行提訴を即刻取り下げよ—

●日時 : 12月2日（水）18:30～

●場所 : 首相官邸前（国会記者会館前）

●主催 : 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック

止めよう！辺野古埋め立て 国会包囲実行委員会

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

◆政府が知事に代わって取り消しを撤回する代執行訴訟で、翁長知事が意見陳述（12月2日）◆

日本政府は、11月17日翁長知事による、辺野古の埋め立て承認取り消し処分に対して、知事に代わって取り消し処分を撤回する代執行を福岡高裁に提訴しました。沖縄県民の総意を踏みにじり、なりふり構わないこの日本政府の暴挙に、沖縄だけでなく日本、かつ世界から批判の声が上がっています。

米軍基地の74%が集中する沖縄は一度たりとも基地を認めたことはありません。翁長知事は「沖縄の米軍基地は、銃剣とブルドーザーによって強制的に接收されたものだ」と歴史的に基地が作られた経緯を明らかにし、「決して辺野古基地を造らせない」と言っています。日本政府は、この翁長知事の決意、沖縄県民の総意に根ざした基地NOの闘いに恐れを抱いています。その表れが警視庁機動隊まで動員しての、反対運動への常軌を逸した暴力的な弾圧です。沖縄県民は決して弾圧に屈しません。

「本土」に住む私たちは、日本政府のこの暴挙を糾弾し基地建設を止めさせるため闘いを強めなければなりません。

12月2日は代執行訴訟の福岡高裁での第一回口頭弁論の日です。日本政府に訴訟を断念するよう、首相官邸に対し、大きな抗議の声をあげましょう。首相官邸前へ、多くの人が参集することを願います。＜発信元＞沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック

当面の戦争法廃止、安倍政権打倒の行動日程

12月 6日(日) 安保関連法の廃止を求める学生・学者・市民の共同行動1206

会場 日比谷野外音楽堂

時刻 集会13時～14時30分 銀座デモ出発14時30分

主催 SEALDs／安全保障法に反対する学者の会

共催 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

協力 安保関連法に反対するママの会／T'nsSOWL／

「憲法9条のノーベル賞を」実行委員会／立憲デモクラシーの会

【チラシ別掲】

12月 6日(日) 12・6密保護法制定から2年を問う講演集会

会場 千駄ヶ谷区民会館2Fホール(渋谷区神宮前1-1-10)

時刻 13時45分～16時30分

講演 保阪正康さん「秘密法と戦争法がつくる『準戦時体制』とは何か」

特別アピール 藤田早苗さん(エセックス大学人権センターフェロー)「国際社会からみた日本の表現の自由」

発言 新聞労連／総がかり行動実行委員会／共通番号いらぬネット／盗聴法廃止ネット

【チラシ別掲】

12月 9日(水) 「9の日全国一斉宣伝」東京宣伝

場所 新宿駅西口

時刻 12時～13時

主催 憲法共同センター／東京憲法共同センター

※2000万人統一署名を訴えます

2000万人統一署名を全力で推進へ 埼玉憲法会議「憲法運動活動交流会」

埼玉憲法会議は共同センターとともに11月26日、「憲法運動活動交流会」を開催、75人が参加しました。中央憲法会議からも参加しました。

☆《目標》 会議ではこの間の運動の教訓がだしあわれるとともに、2000万人統一署名の取り組みで、2000万人に対応する埼玉の目標140万人のうち、憲法会議と共同センターで100万人分をやり遂げること、年内には10万人を突破しようと意思統一されました。埼玉土建が35万人、医療生協7万人、日本共産党埼玉県委員会60万人などの目標も紹介されました。

☆《推進体制》 久喜市栗橋地域では年金者組合、土建、医療生協、九条の会、個人による「戦争法廃止栗橋の会」を結成し、人口の20%に当たる4000人の署名に挑戦し、宣伝計画なども具体化しています。杉戸町でも団体や市民による「共同センター」をつくり、推進する体制を確立しています。

☆《学習と全戸訪問》 飯能・日高連絡会では、情勢と署名推進のために12月5日、「明日若」の弁護士を講師に学習会を開催します。飯能、日高の地域を順次、計画的に、各戸訪問で署名を訴えることにしています。

☆《署名収集ポスト》 草加では、2000 万人署名をやりとげようと、署名用紙を全戸に配布中。配布した署名用紙が届けてもらいやすいように、地域の人たちの協力を得て、何カ所にも「署名収集ポスト」を設置しています。

☆《埼玉土建》 埼玉土建の法案反対の運動は戦後最大の取り組みとなりました。先ごろ開かれた全建総連第 56 回定期大会全体会で、同土建の代表が「2000 万人署名を取り組もう」と発言、執行部が肯定的に答えています。【詳細別項】

2000 万人署名・35 万人目標をやり遂げるために、先頭に立って奮闘する「シヨメレンジャー（署名レンジャー）」に数千人の仲間に決意してもらうこと、中国脅威論や個別的自衛権と集団的自衛権の関係などをわかりやすく説いたチラシ・学習資料も作成するなど準備を進めています。地域住民の 20%獲得のために地域にある他団体との共同も追及しています。

【別項】

全建総連第 56 回定期大会全体会の質疑応答関連部分 (全建総連機関紙から)

武山代議員（埼玉土建）の発言

「安全保障関連法の廃止に向け『戦争法廃止 2 千万署名』と集会参加を呼びかけるべき」

勝野書記長の答弁

「武山代議員の発言について、全建総連は憲法労組連「9 条改悪反対署名」を基本に取り組む。2 千万署名は、各組合の積極的な対応を呼びかける。」